

2024 子ども子育て支援全国大会プレセミナー in 熊本

テーマ「少子社会の子育て支援を考える」

期日 2024年(令和6年)11月18日(月) 9:30 受付～16:45 終了

会場 くまもと森都心プラザ プラザホール

主催 熊本県地域子育て支援センター事業連絡協議会(熊本市子育てネット)

共催 日本子ども・子育て支援センター連絡協議会(ここネット)

10時に熊本県錦町福島保育園桑原文佳先生の司会により開会、熊本県地域子育て支援センター事業連絡協議会小岱紫明会長の主催者挨拶の中で本大会の位置づけとコンセプトの説明が行われ、その後、熊本県健康福祉部子ども未来課竹中良課長と熊本市子ども局子ども育成部子ども支援課橋本倫子課長から来賓挨拶を賜った。

研修Ⅰ「寄ってたかって子育て～親子の育ちを支援できる町～」、武田信子氏の講演では、子育ての便利グッズの現状やグループワーク、ある子育て支援センターの現状等、子育てを取り巻く環境やその歴史を通して本当に必要な子育て支援とは何かということを考えながらこれまでの子育て支援の歩みを振り返った。

研修Ⅱ「二極化する出産・子育て～沖縄のおにわの活動から～」では、講師の上間陽子氏が調査畑から支援畑に入っていかれた経緯を通して沖縄の厳しい状況におかれている若者の現状を学んだ。「母にすべてを背負わさない。子どもはケアを受けないと育たない。母はケアされないと子どもを育てることはできない。」、わたしたち支援の現場で忘れてはいけない言葉だと感じた。

研修Ⅲ「このとりのゆりかごから始まる第二の人生」では、講師の宮津航一氏自身の体験から家族の在り方について、立ち止まり見直す契機となった。最後の宮津氏の「置かれたところで咲きなさい」という言葉を大切にしているというメッセージが印象的だった。

研修Ⅳ『熊本からの提言』では、各施設が抱える取組や課題、少子社会の親がおかれている現状分析について意見が述べられた。